

市民の皆さまへ

目まぐるしく移り変わる時代の中、少子高齢化、国際化、情報化が急速に進み、人々の価値観や生き方の多様化とともに、児童虐待、暴力（DV）、いじめ、性的マイノリティの問題、インターネットによる人権侵害等、人権課題はますます多岐にわたり、複雑化しています。その解決のためには、身の回りの人権課題を他人事ではなく自分自身の問題として捉え、取組をすすめていくことがたいへん重要と考えています。

私たち一人ひとりが人権感覚を育み、お互いの人権を大切にしようとする意識や行動が日常生活の中に自然と根付くよう、創意工夫を凝らした人権教育が求められています。また、誰もがふるさと“にしわき”に誇りと愛着を持ち、夢や希望に向かって輝いて生きる地域社会を築いていくためには、お互いの存在を大切に人権教育の推進が必要です。

今年度も、人権教育啓発資料「ゆきちゃんからのメッセージ」を発行いたします。初めての発行以来、今回が30回目となり、ひとつの節目を迎えました。改めて、これまでの資料を見直しますと、それぞれの課題解決に向けた市民の皆さまの熱意の足跡を感じます。そして、途切れることなく、人権文化の創造に向けた様々な取組が展開されてきたことがわかります。

今回は、人権をより身近に感じていただくため、できるだけ多くの方々の輝く姿を掲載させていただきました。また、家庭や地域で一緒に学びを進めていけるように「学習の手引き」や「ワークシート①②③」をいれております。誰もが大切にされる共生社会の実現に向け、この資料が広く活用されることを願ひまして、発行の挨拶といたします。

2019(平成31)年3月 西脇市教育長 笹倉邦好

表紙

西脇市人権教育研究大会（11/17重春小）開会行事・シンポジウムの様子を表したものです。世界身体障害者野球日本大会で活躍した選手、コーチ、観戦した小中学生が思いを語りました。

障害者野球に出会い、夢を持つことができたゲストの熱い思いが会場一杯に伝わり、それぞれが勇気と希望を抱くことのできたシンポジウムとなりました。応援に駆けつけたサポーターはゲストの生き方に感動し、西脇工業高校の二人は多くの人々の前で堂々と司会が出来たことを喜びました。

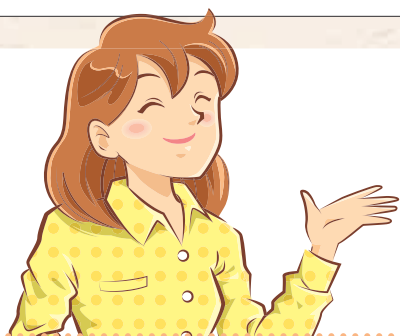
第4回世界身体障害者野球日本大会

◎日時 2018(平成30)年9月1日(土)～2日(日)

◎場所 G7スタジアム神戸(神戸市須磨区)

◎出場国 アメリカ、プエルトリコ、韓国、台湾、日本

開会式の入場行進曲を、西脇南中吹奏楽部の皆さんが演奏しました。



私の名まえは“ゆき”
“ゆき”は「幸」……みんなの幸せ招くように
“ゆき”は「雪」……きれいな心が降り積むように
“ゆき”は「優貴」……やさしい心で生きていくように
ゆきちゃんからのメッセージ vol.1より



アメリカチームとの交流



入場行進曲の演奏